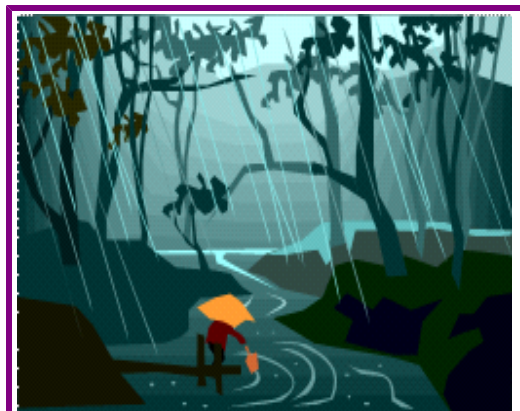


めぐみイエス・キリスト教会

2019年7月21日(日)第三主日礼拝
週報「通算第465号」



2019年標題聖句

第Ⅱペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまりくことなど決してありません。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年7月21日 第三主日礼拝
第一礼拝 午前10時 第二礼拝 午後6時
司会 鈴木 竜実牧師 奏楽 佐野 みゆきさん
◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌444 「屈するなかれ」 p. 716

【交読文】 No.39 詩篇第122篇 p. 911

【賛美Ⅱ】 新聖歌21 「輝く日を仰ぐとき」 p. 28

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.4 「天には救いの喜び」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書18章24節～27節 (p. 200上段右端)

【祈 禱】

【説 教】 《第二回宗教裁判とペテロの否定》 鈴木竜実牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165 「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

●ポイント1. 大祭司カヤパにおける第二回宗教裁判とは？

※マルコの福音書14章61節～62節「カヤパの質問から」(新約p.91上段)

14:61 しかし、イエスは黙ったままで、何もお答えにならなかった。大祭司は、さらにイエスに尋ねて言った。「あなたは、ほむべき方の子、キリストですか。」

14:62 そこでイエスは言われた。「私は、それです。人の子が、力ある方の右の座に着き、天の雲に乗って来るのを、あなたがたは見るはずです。」

●ポイント2. シモン・ペテロにおける主イエス様の否定とは？

※マタイの福音書26章69節～74節「共観福音書から」(新約p.53上段)

26:69 ペテロが外の中庭に座っていると、女中のひとりが来て言った。「あなたもガリラヤ人イエスと一緒にいましたね。」

26:70 しかし、ペテロはみなの前でそれを打ち消して、「何を言っているのか、私にはわからない。」と言った。

26:71 そして、ペテロが入口まで出て行くと、ほかの女中が、彼を見て、そこにいる人々に言った。「この人はナザレ人イエスと一緒にでした。」

26:72 それで、ペテロは、またもそれを打ち消し、誓って、「そんな人は知らない。」と言った。

26:73 しばらくすると、そのあたりに立っている人々がペテロに近寄って来て、「確かに、あなたもあの仲間だ。言葉のなまりではっきりわかる。」と言った。

26:74 すると彼は、「そんな人は知らない。」と言って、のろいをかけて誓い始めた。するとすぐに、鶏が鳴いた。

●ポイント3. イエス様と、シモン・ペテロの返事から学ぶこととは？

※マタイの福音書10章32節～33節「十二弟子への言葉」(新約p.17上段)

10:32 「ですから、私を人の前で認める者はみな、私も、天におられる私の父の前でその人を認めます。

10:33 しかし、人の前で私を知らないと言うような者なら、私も天におられる私の父の前で、そんな者は知らないと言います。」

※ルカの福音書22章61節～62節「ルカだけの記述から」(新約p.151)

22:61 主が振り向いてペテロを見つめられた。ペテロは、「きょう、鶏が鳴くまでに、あなたは、三度私を知らないと言う。」と言われた主のお言葉を思い出した。22:62 彼は、外に出て、激しく泣いた。

※ヨハネの福音書8章58節「ユダヤ人指導者への言葉」(新約p.178上段)

8:58 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。アブラハムが生まれる前から、私はいるのです。」

◎先週のメッセージの概要【第一回宗教裁判】

《主イエス様を縛り上げ捕らえた千人隊長と一隊の兵士、そして役人と民の指導者たちは、イエス様を、まず大祭司アンナスの所へ連れて行きました。

ヨハネによりますと、大祭司の邸宅の入り口には門があり、門番として女中が立っていたとあります。ここでヨハネは、「もうひとりの弟子は、大祭司アンナスと知り合いであった。」と言うのです。聖書学者の中には、これは間違いであると主張する者もいます。なぜならガリラヤ湖の漁師の息子が、どうやって最高指導者と知り合いになれるのか、考えられないと言うわけです。

イエス様が、ゼベダイの子ヤコブとヨハネをお呼びになった時、父ゼベダイは雇い人と一緒にいました。伝承ではガリラヤ湖の網元と言われています。

ゼベダイと大祭司との接点は、どこにあるのかと考えますと、バプテスマのヨハネに関係があるようです。ヨハネの両親は、父は、アビヤの組の祭司ザカリヤであって、妻はアロンの子孫で、名をエリサベツと言いました。このエリサベツは、主の母マリヤとは親類であったのです。母マリヤには妹がいました。名をサロメと言って、ゼベダイの妻であり、ヤコブとヨハネの母なのです。

ここに、エルサレム神殿の祭司ザカリヤとの接点があり、ザカリヤを通して大祭司アンナスとその婿カヤパとの接点が生じたと考えられるのです。

さて、前大祭司アンナスによる「第一回宗教裁判」について考えて見ますと、『弟子たちのこと、また教えのことについて』尋問した、と書かれています。

実際にどんな内容の尋問を行なったことについては、詳しく書かれてはいませんが、主イエス様のお答えから、ある程度は推測することが出来ます。

まず「弟子たちのこと」ですが、これは人数のことです。そして次に「教え」ですが、アンナスは婿カヤパに任せっきりであって、イエス様の教えにはほとんど興味を示さなかったことが分かります。しかし婿カヤパは違います。彼は、人類最大の質問をします。「あなたは生ける神の御子キリストなのか。」またこの場面には、シモン・ペテロによる最初の主の否定が描かれています。》

◎お知らせ

※次回の礼拝は7月28日です。そして次回「聖書の学びと祈り会」は、7月31日(水)に行ないます。7月24日(水)祈り会は、鈴木牧師が神学校断食研修会(7月22日(月)～24日(水)2泊3日)に参加しますからお休みとなります。そして、8月14日(水)の祈り会もお休みとなります。日程にご注意下さい。